

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~ ②

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「史跡名勝天然記念物(天然記念物4)」.....

神社の境内には、ご神木など信仰の対象として、長い間大切にされてきた巨樹・巨木があります。これらの木には、それにまつわる言い伝えが残っていたり、季節の目安になっているなど、地域の生活に寄り添ってきました。

白藤神社の大モミ

(県指定)大谷

奈佐小学校の近くにある白藤神社の石段を登りきった左手に、モミの巨木があります。



胸高周囲5.5m、樹高30mの堂々とした姿をしています。落雷で先端部が折れるまでは、県内で2番目の規模を誇るモミの巨木とされていました。モミは、クリスマス・ツリーの木として親しまれていますが、日本特産の常緑針葉樹の一つです。

小江神社の大ケヤキ

(県指定)江野

神社鳥居の脇にある池を覆うようにしてこの木は立っています。やや斜めになっています。

豊富な地下水に恵まれてよく育ち、堂々とした姿を見せています。胸高周囲は4.2mあります。近年、主幹に割れが生じたため上部を切り取って、支柱を添える手当てが行われましたが、樹勢はなお盛んです。



天神社のトチノキ

(県指定)日高町万場

樹高30m、胸高周囲7.6mで、国の天然記念物に指定されている畑上の大トチノキよりも大きく、県内随一の規模を誇っています。



また、地元のものとして親しまれてきました。トチノキは、その実が縄文時代から食用にされ、現在でも餅や菓子に使われるなど、生活に密着した身近な樹木として知られています。

おまき桜

(市指定)竹野町椒

檜椒神社境内の県道沿いにある古木の桜です。樹高14.5m、胸高周囲6.1mで、樹種はエドヒガン。

主幹に大きな空洞がありますが、毎年、4月の中旬に満開を迎えます。麻の栽培が盛んだったころ、この桜の開花が、麻(お)の種をまく目安になっていたことから、おまき桜と呼ばれるようになりました。



語句の解説

・胸高周囲…地上1.3mの幹周りをいう。背の高い樹木はこの数値で比較される。

●発行/豊岡市
☎079661231111
市長室FAX2411004
●編集/政策調整部秘書広報課
FAX2311124

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
・竹野 ☎4711111
・出石 ☎5231111
・但東 ☎54423211001
・城崎 ☎10001